

沖WebEDIサービスのご紹介 取引先様用

株式会社 OKIソフトウェア
WebEDIヘルプデスク

目次

1. WebEDIサービスの特徴
2. WebEDIシステムの構成
3. ご利用いただける機能
4. WebEDIシステムでご利用いただける情報
5. セキュリティについて
6. お取引先様でご用意いただくもの
7. 費用について
8. WebEDIシステムの運用
9. WebEDI導入までの作業内容
10. WebEDI利用の申込、手続き

補足説明: 利用端末の事前設定準備など

1. WebEDIサービスの特徴

◇低コスト導入

- ・ EDI専用ソフトを不要とし、インターネットへ接続されたパソコンとプリンタをご用意いただくだけで、EDIを実施できます。
- ・ 取引データをテキスト形式でダウンロードできますので、お取引先様でトランスレータ等を持たなくても簡単にデータ活用ができます(例えば、Excel等にデータを取り込むことができます)。

◇低コスト運用

- ・ 統一企業コードの取得費(EDIセンターへ登録申請します)、データ蓄積の為のBOX管理費等が不要です。

◇簡単な操作性

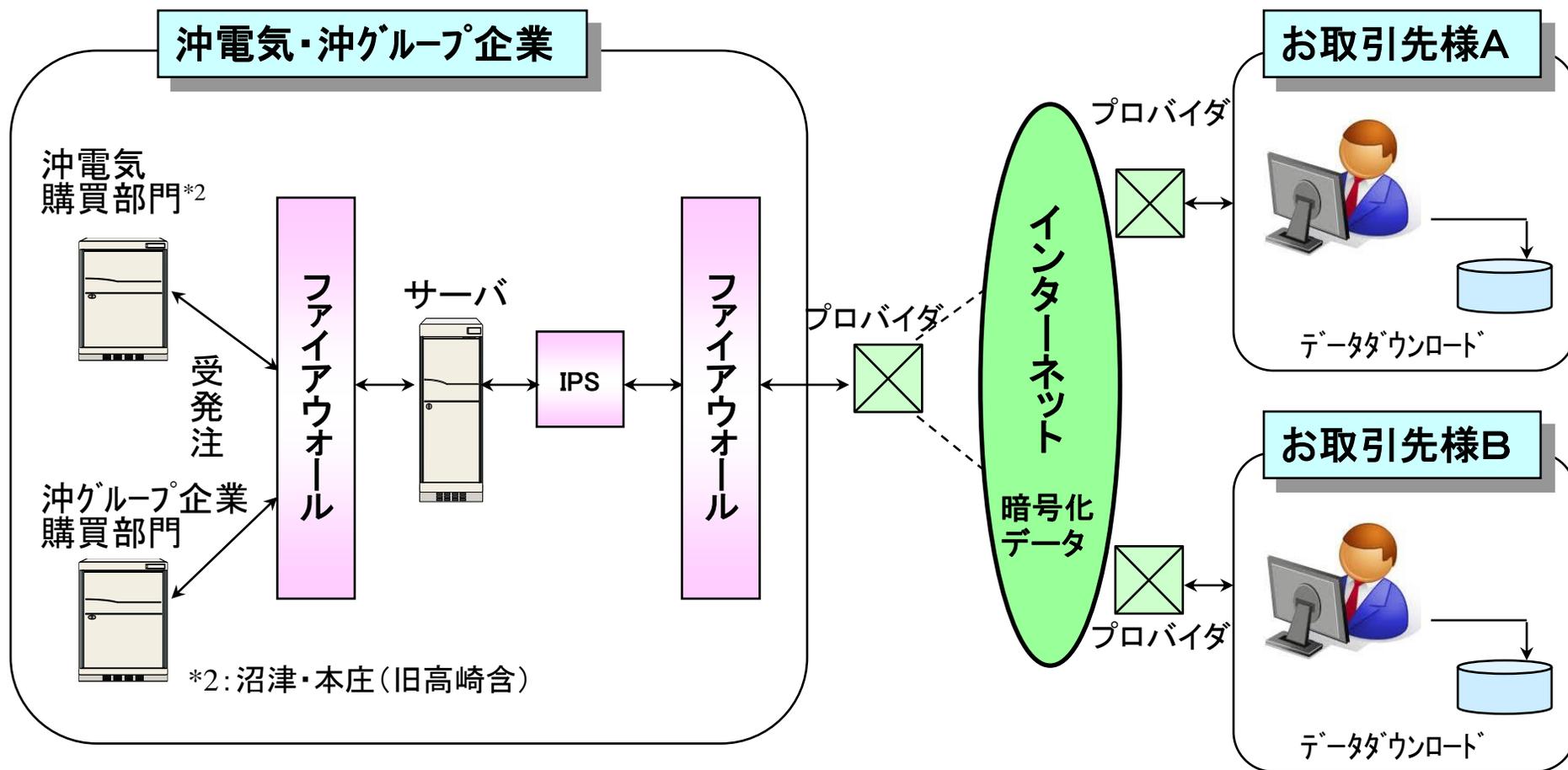
- ・ WWWブラウザの画面メニューに従って操作するだけで、データの送受信・帳票のプリントアウト等ができます。

◇安心してご利用いただけるセキュリティ

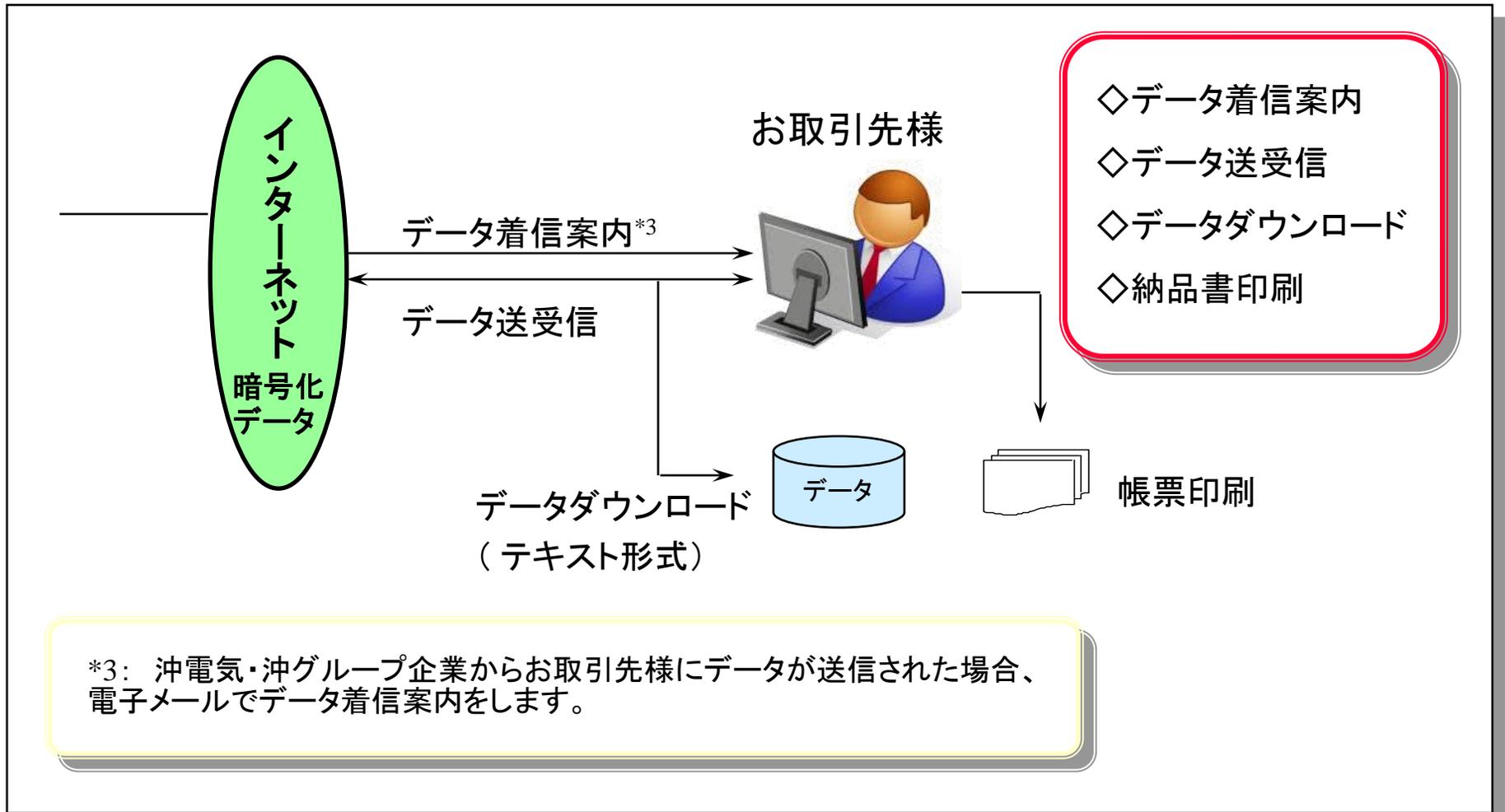
- ・ IPS^{*1}(不正侵入防止システム)により不正な通信を検出し通知するほか、その通信を遮断します。
- ・ SSL等のセキュリティプロトコルによりデータを暗号化します。

*1 「Intrusion Prevention System」の略

2. WebEDIシステムの構成



3.ご利用いただける機能



4. WebEDIでご利用いただける情報



*4:()内は、「EIAJ取引情報化対応標準」の情報区分コードです。

*5: 注文情報の内容
内示注文情報(0501)
確定注文情報(0502)
変更注文情報(0503)
注文取消情報(0504)
注文打切情報(0505)

*6: 各地区で使用する情報種類は異なる場合があります。

※送受信のデータ項目等については添付資料「データ種別・項目」をご参照下さい。

5-1. WebEDIのセキュリティ

インターネットを利用したデータの送受信には、データの盗聴、改ざん、不正アクセス等の危険性がありますので、下記のような対策をとっています。

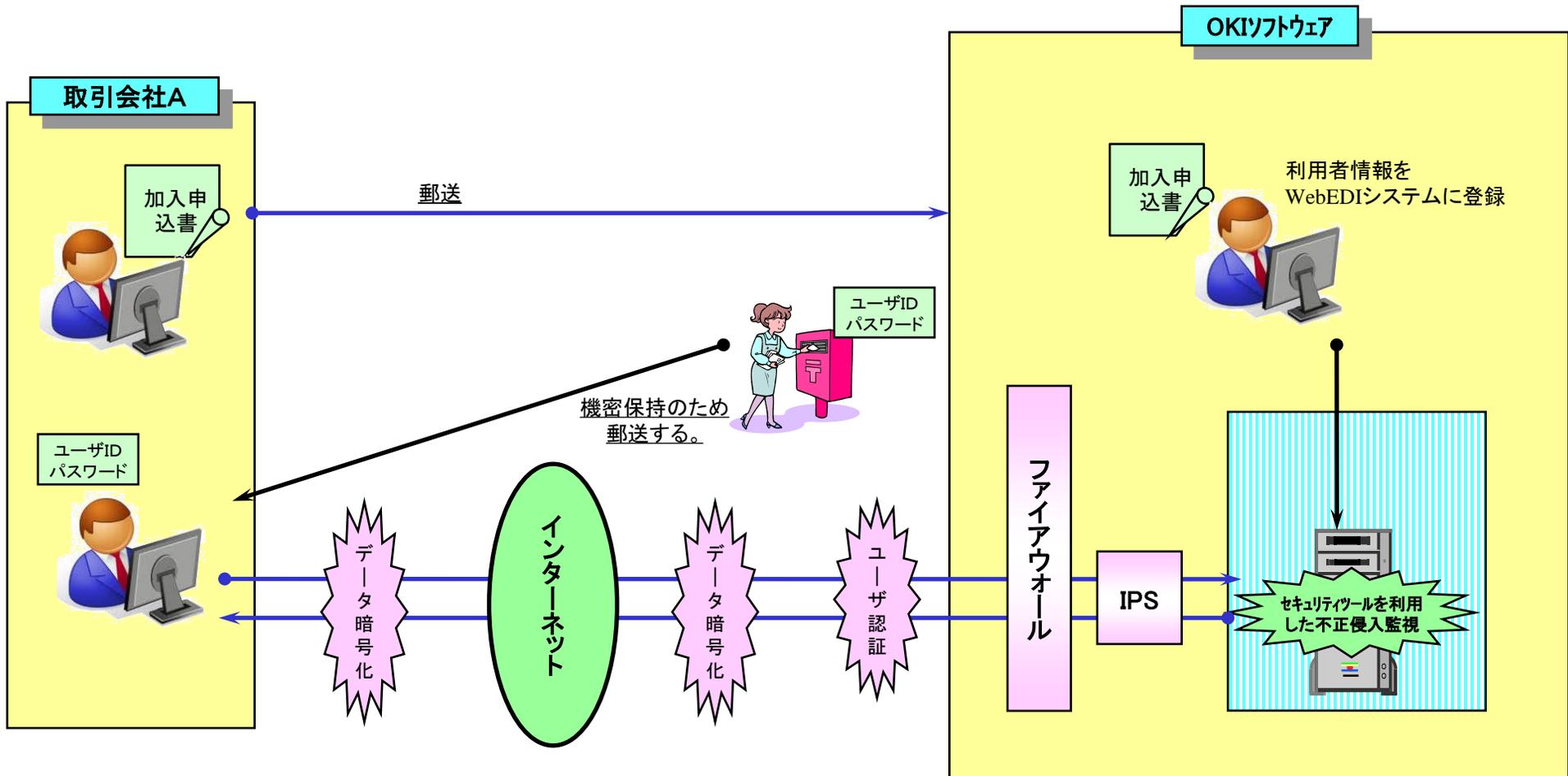
◇IPS(侵入防止システム)

IPSにより、サーバやネットワークの外部との通信を監視し、侵入の試みなど不正なアクセスを検知して攻撃を未然に防ぎます。

◇データの暗号化

沖Webサーバにインストール済みのサーバ用デジタル証明書を利用することにより、Webサーバとの送受信データを全て暗号化し、取引データの漏洩を防ぎます。

5-2. WebEDIのセキュリティ



6. お取引先様でご用意いただくもの

ネットワーク

- ・インターネットプロバイダ接続
 - ※ 既にプロバイダ契約しているお取引先様は必要ありません。
- ・公衆回線接続

ハードウェア

- ・パソコン
 - ・OS: Windows
 - ・モデム／ターミナルアダプタ
- ・プリンタ: ページプリンタ、印刷密度:600dpi以上

ソフトウェア

- ・ブラウザ: Microsoft Edge
 - ・納品書出力ソフト: Adobe Reader *8
 - ・Windows10,Windows11
 - ・電子メールソフト
- *8は無料でダウンロード可能です。
*8にバーコード印字用フォントは含まれています。

注意)Microsoft社、Adobe社のサポート期間が切れている製品については稼働保障できません。

7. 費用について

◇接続に係わる費用 及び 支払方法

- ・WebEDI接続料： お取引先様1ホームページにつき 月額固定料金5,000円（消費税抜き）

お支払方法

- ・「月払い」、「半期一括払い」、「年一括払い」のいずれかをお選びいただきます。
- ・加入翌月から利用料金が発生します（加入月は無料）。
- ・支払は請求月の20日までに銀行振込でお願いします。
 - 振込先は、請求書に明記いたします。
 - ※ 振込手数料は、お取引先様にご負担いただきます。

- ・NTT回線使用料

- ・プロバイダー接続料： 既にプロバイダと契約されているお取引先様は必要ありません。
未契約のお取引先様は、プロバイダーとの契約手続きが必要です。

8. WebEDIシステムの運用

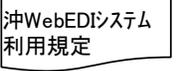
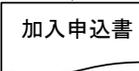
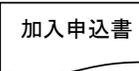
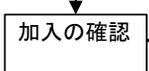
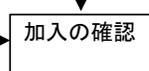
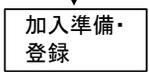
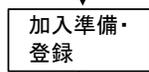
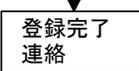
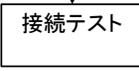
運用方法の概要

- ・WebEDIとの送受信は、お取引先様が起動して下さい。
 - ・Webサーバに蓄積されたデータは、当日中に必ず受信して下さい。
 - 沖よりお取引先様にデータが送信されますと、「データ着信案内」のご連絡をいたしますので、データ受信(ダウンロード)を行って下さい。
- なお、「データ着信案内」の連絡タイミングは、
- ☆午後1時までにデータ送信があった場合は、当日午後1時
 - ☆午後1時から午後4時の間にデータ送信があった場合は、当日午後4時
- となっています。
- 但し、お取引先様で当日分のデータを受信されている場合には、着信案内は送信しません。

Webデータの蓄積時間・蓄積期間

- ・検収情報以外の情報は当日正午までに蓄積を終了いたします(見積依頼情報は除きます)。
- ・検収情報は、月に1回午後1時に蓄積を行います。
- ・Webデータの蓄積期間は、10年です。この期間を過ぎたデータはサーバより消去します。

9. WebEDI 導入までの作業内容

お取引先様	沖電気 資材部 沖G企業 資材部	OKIソフトウェア	作業内容
			<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン取引に関する覚書「沖WebEDIシステムデータ交換の覚書」をお取引先様と沖電気/沖G企業で締結します。
			<ul style="list-style-type: none"> ・「沖WebEDIシステム利用規定」の内容を承諾いただいた上で、プロバイダ契約、接続回線などを用意いただき、「加入申込書」をOKIソフトウェア ヘルプデスクにご提出下さい。
			
			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてヒアリングします。
			<ul style="list-style-type: none"> ・貴社：ソフトのインストールなどを行っていただきます。 ・弊社：EDP登録、システムの調整・登録などの準備をします。
			<ul style="list-style-type: none"> ・お取引先様へ、OKIソフトウェア ヘルプデスクから登録完了の連絡をします。
			<ul style="list-style-type: none"> ・WebEDIテストデータの送受信及び帳票の印刷を行っていただき、購買担当者に印刷した帳票をご提出下さい。
<p style="text-align: center;">接 続 本 番</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・沖WebEDIシステムとしてご使用いただけます。

10. WebEDI利用の申込、手続き

◇申込方法

- ・申込先 : OKIソフトウェア WebEDIヘルプデスク
- ・必要書類 : 「加入申込書」

◇手続き並びに作業内容

加入申込書を受領後、沖内部で調整させていただきます。その結果をお取引先様にご連絡し、以下の手続きをお取引先様に行っていただきます。

①オンライン取引に関する覚書の締結

「取引基本契約書」の覚書として、沖WebEDIシステムの利用、接続料金徴収等に関する「沖WebEDIシステムデータ交換の覚書」を締結いただきます。

なお、覚書は、各地区の資材部門 購買担当者にご提出下さい。

②WebEDI操作マニュアルのダウンロード作業とWebEDI関連ソフトのインストール作業

③沖WebEDIへの接続テスト及び帳票印刷

→ お取引先様と沖の双方で確認作業を行います。

④本番稼働

補足説明: 利用端末の事前設定準備など

◇データをダウンロードするための事前設定作業

・拡張子の関連付け

WebEDIシステムよりデータをダウンロードするための事前準備として、拡張子との関連付けの作業を行って下さい。

作業方法は、WebEDIシステムホームページ上の「沖WebEDIの事前設定マニュアル」をご参照下さい。